

第69期 中間報告書

2018年9月1日～2019年2月28日

Shinwa Report Joining the World, Joining the Future

CONTENTS

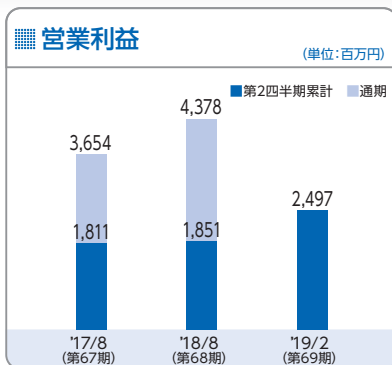
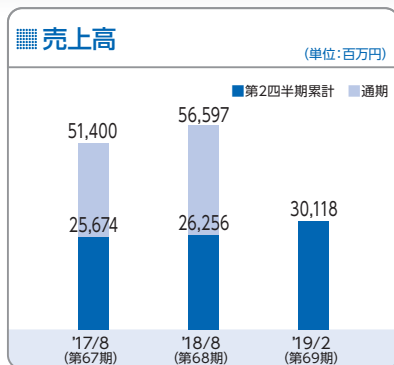
決算ハイライト	1
トップメッセージ	2
トピックス	3
業績の状況	5
財務情報	7
会社情報	9
株式情報	10



株式会社

進 和

証券コード：7607



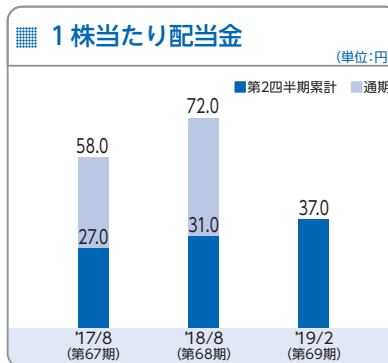
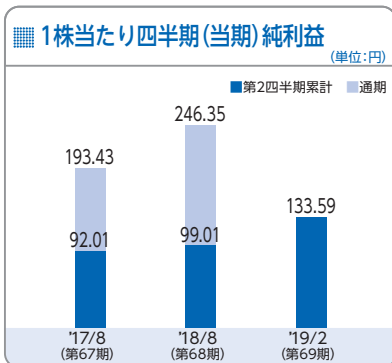
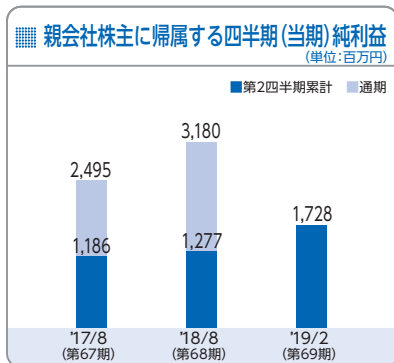
売上高 **30,118**百万円
前年同期比 14.7%増

経常利益 **2,509**百万円
前年同期比 35.8%増

**親会社株主に
帰属する
四半期純利益** **1,728**百万円
前年同期比 35.2%増

業績のポイント

- 国内外において、自動車業界向けの販売が好調に推移し、売上高は前年同期比14.7%増となりました。
- 販売費及び一般管理費は増加しましたが、売上高の増加により経常利益は前年同期比35.8%増となりました。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比35.2%増となりました。





ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第69期中間報告書（2018年9月1日から2019年2月28日まで）をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善、個人消費の持ち直しや設備投資の増加など、総じて緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの主要ユーザーである自動車メーカー・同部品メーカーにおいて、研究開発投資や設備投資が高い水準で実施されたことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は、301億18百万円（前年同期比14.7%増）、また経常利益につきましては、25億9百万円（前年同期比35.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、17億28百万円（前年同期比35.2%増）と、期初の計画を上回る増収・増益となりました。

今後の見通しにつきましては、引き続き緩やかな回復基調が続くものと想定されますが、米中の貿易摩擦問題の長期化や英国のEU離脱問題などの影響により、世界経済の先行きは不透明な状況が続くことが予想されますので、主要ユーザーである自動車業界の設備投資への影響を注視していく必要があるものと考えます。



当社グループでは、第2次中期経営計画「Shinwa moving forward 2020－持続的な成長とたゆまぬ変革－」の経営ビジョンに基づき、部門ごとに策定した重点戦略を着実に推進することで、企業価値の向上と持続的な成長に努めてまいります。

株主の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜ります様、お願い申し上げます。

2019年5月

代表取締役社長 **根本 哲夫**



進和グループに 新たにダイシンが加わりました

本年1月、自動車部品向け樹脂・ゴムの精密成形品の製造・販売を行う株式会社ダイシンを子会社化し、2月の株式交換により完全子会社としました。

同社の子会社化により、進和グループの強みを最大限に活かして、新たな市場とお客様を開拓するとともに、付加価値の高いソリューションを提供してまいります。

ダイシンってどんな会社？

1

◆ プロフィール

会社名	株式会社ダイシン
本社および拠点	本社：名古屋市中村区十王町2番7号 本社工場：名古屋市守山区大字下志段味字熊田450番1 有松工場：名古屋市緑区桶狭間切戸2213番地
代表者	代表取締役社長 浦野 洋史
事業内容	自動車部品のプラスチック精密樹脂製品の製造・販売
資本金	26百万円
設立年月日	1986年8月5日（創立1959年4月1日）

2

◆ 事業の特徴

株式会社ダイシンは、1959年の創業以来、自動車用部品を主力製品として信頼性の高い樹脂成形品、ゴム成形品、不織布、シール・パッキング材の製造、販売を行っています。

中でも同社の樹脂成形品は、ほとんどが外観部品ではなく、精度の高い成形技術が要求される燃料タンク部品、エンジン部品等の機能部品であり、自動車の性能や安全性に重要な役割を果たしています。特にインサート成形と呼ばれるプラスチック部品の中に金属を挟み込んだ状態で成形したものを得意としており、高い強度と耐久性が求められる部品を生産しています。

3

◆◆◆ 主な製品

- ・樹脂成形品 燃料タンク部品、エンジン周りの部品
- ・不織布 エアクリーナー、フィルターとして使用
- ・ゴム成形品/パッキング/ガスケット
シール材、パッキング材として自動車業界をはじめ、あらゆる産業分野で使用



4

◆◆◆ 事業の強み

当社では、お客様の多様化するプラスチックのニーズに応えるため、縦型成形機50t～100t、横型成形機50t～350tを取り揃える他、コンピュータ制御による自動倉庫システムやユニットの自動組み付けシステムなど最新の生産設備を導入しています。また、高い精度度が要求される自動車部品において、信頼性の高い製品を提供するためISO9001、14001を取得し、お客様に最適な機能部品を提供しています。

創意と努力を尽くし生産効率の一層の向上に努め、より質の高い製品を低コストで提供する方針を貫いています。

期待されるシナジーって何ですか？

1

◆◆◆ 新たなお客様の獲得

当社の製造事業における「受託加工」型や「ファブレス」型の製造形態に、同社の「量産」型が加わることで、これまで以上にメーカー機能を持つ「商社」としての強みを発揮し、新規ユーザーの獲得や既存ユーザーとの取引深耕が図れます。

2

◆◆◆ 事業領域の拡大

自動車業界では車両の軽量化が重要なテーマであり、これまで金属材料が主流だった自動車部品に対してプラスチック化が進展しています。同社の樹脂成型技術と当社の金属接合技術を融合することで、電動化に対応した新たな自動車部部分野への参入を目指します。



3

◆◆◆ コストの削減

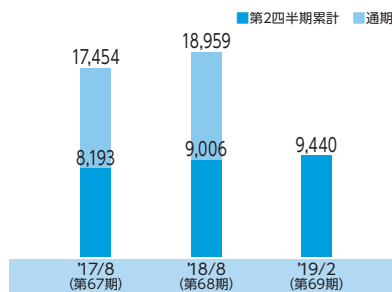
同社の本社工場（名古屋市守山区）は、当社主要工場であるジョイテックセンターの近隣にあり、不動産・工場設備等の効率運用や経費節減といったコスト削減効果に加え、人材交流による相乗効果が期待できます。



業績の状況

金属接合

広範囲にわたる商製品と接合技術により量産体制をトータルにサポート



金属接合
31.4%

売上高構成比

中国

▶ 売上高	1,871百万円
▶ セグメント利益	194百万円

日系自動車メーカー向け新規ラインの生産指示システムや中国機械メーカー向けの射出成形機部品の売上を計上したことなどから、売上高は18億71百万円（前年同期比48.6%増）、セグメント利益は1億94百万円（前年同期比149.5%増）となりました。なお、非連結子会社であった進和（天津）自動化制御設備有限公司について重要性が増したことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

その他

▶ 売上高	316百万円
▶ セグメント利益	37百万円

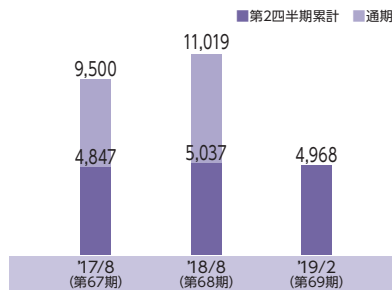
前年同期に売上計上した日系電機メーカー向け大口案件の反動などから、売上高は3億16百万円（前年同期比40.6%減）となりましたが、セグメント利益は37百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

中国
6.2%

売上高構成比

FAシステム

産業設備用制御機器や生産情報システムなど、モノづくりの環境全体を最適化



FAシステム
16.5%

売上高構成比

その他

1.1%

売上高構成比

東南アジア
6.2%

売上高構成比

日本
79.4%

売上高構成比

東南アジア

▶ 売上高	1,857百万円
▶ セグメント利益	169百万円

マレーシア日系自動車メーカー向け新工場の情報システムやタイ日系自動車メーカー向け溶接設備、空調機器メーカー向け設備の売上を計上したことなどから、売上高は18億57百万円（前年同期比11.5%増）、セグメント利益は1億69百万円（前年同期比23.0%増）となりました。なお、非連結子会社であったPT.SANTAKU SHINWA INDONESIA（インドネシア）について重要性が増したことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

米 国

▶ 売上高	2,148百万円
▶ セグメント利益	121百万円

日系自動車メーカー・同部品メーカー向け生産設備やろう付材料などの売上を計上したことなどから、売上高は21億48百万円（前年同期比22.4%増）、セグメント利益は1億21百万円（前年同期比108.8%増）となりました。

米 国
7.1%

売上高構成比

日 本

▶ 売上高	23,924百万円
▶ セグメント利益	1,997百万円

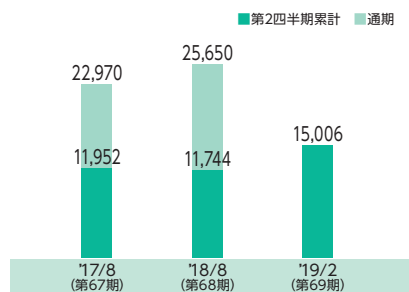
自動車業界の積極的な設備投資需要を受け、日系自動車メーカー・同部品メーカー中心に設備案件の売上を計上したことなどから、売上高は239億24百万円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益につきましては19億97百万円（前年同期比26.8%増）となりました。

産業機械

産業機械
49.8%

売上高構成比

自動車、電気機器などの製造ラインを構成する各種産業機械をワンストップで提供

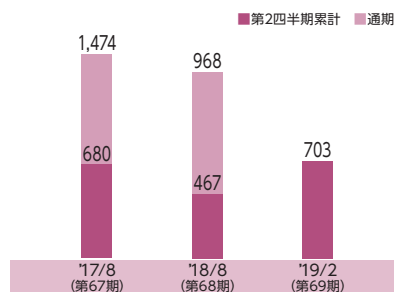


メンテナンス・その他

メンテナンス・その他
2.3%

売上高構成比

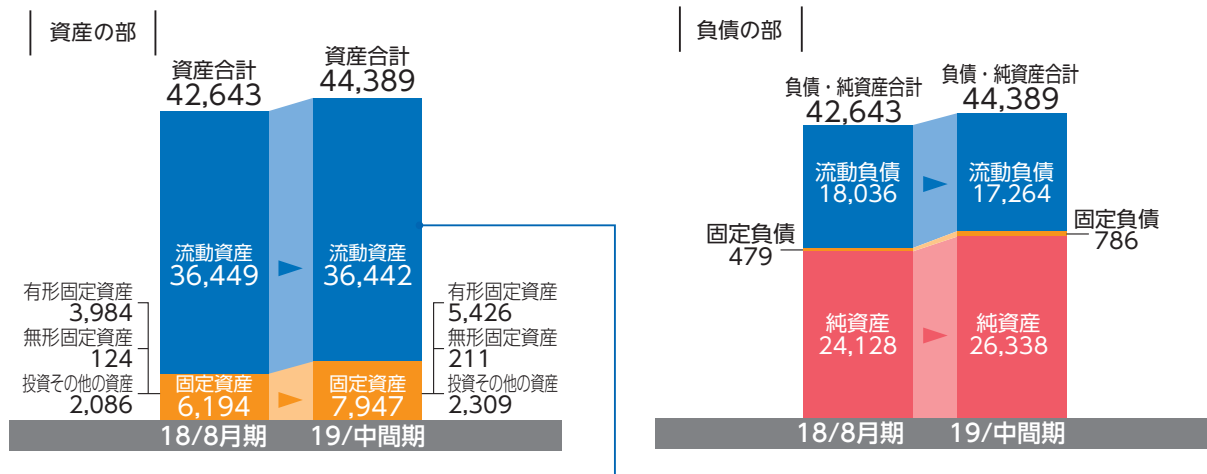
鍛造・板金プレスをはじめとする各種機械装置・機械部品をメンテナンス





財務情報 (第2四半期)

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

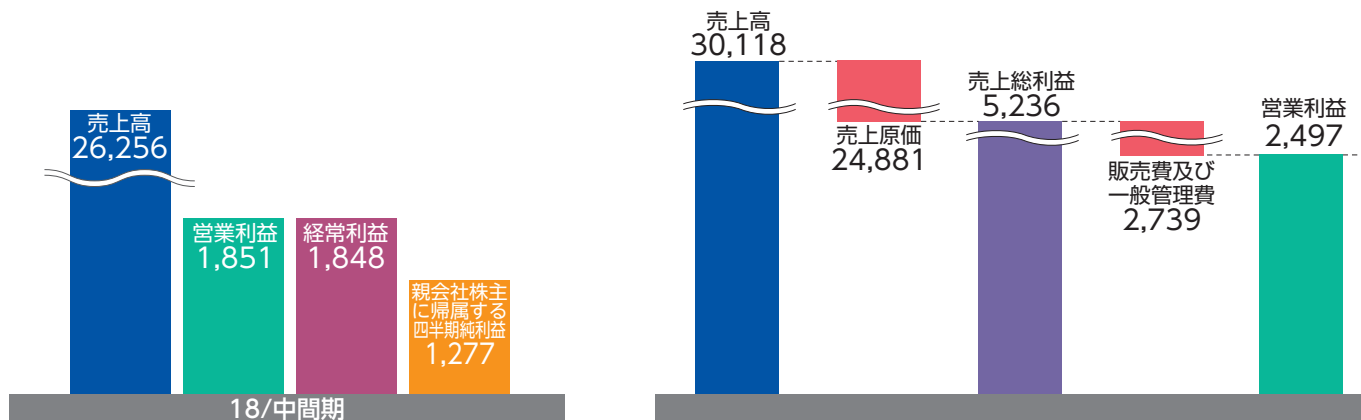


POINT

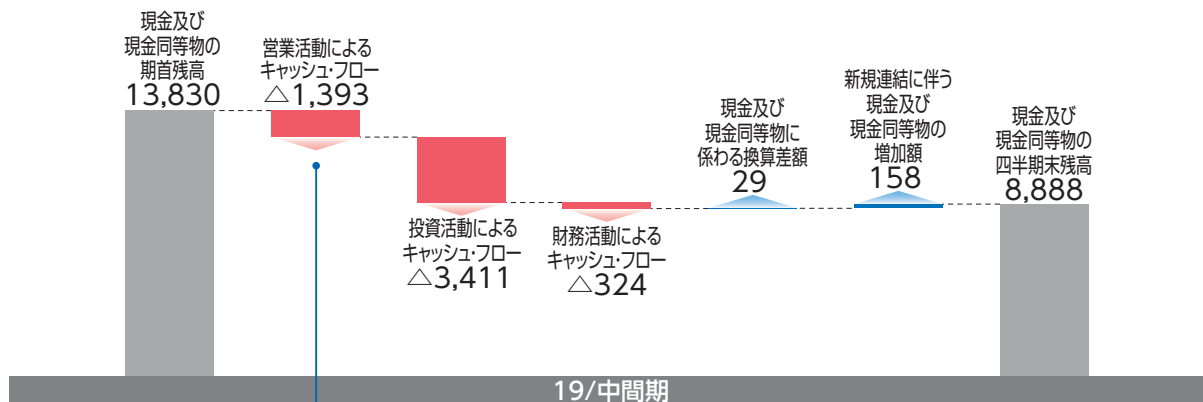
流動資産は前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、364億42百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が7億30百万円、商品及び製品が23億44百万円、未収消費税等の増加等により流動資産のその他が1億11百万円増加しましたが、現金及び預金が24億15百万円、電子記録債権が5億18百万円、仕掛品が2億84百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末に比べ7億71百万円減少し、172億64百万円となりました。これは主に前受金の増加等により流動負債のその他が5億58百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が16億28百万円、未払法人税等が63百万円減少したことによるものであります。

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



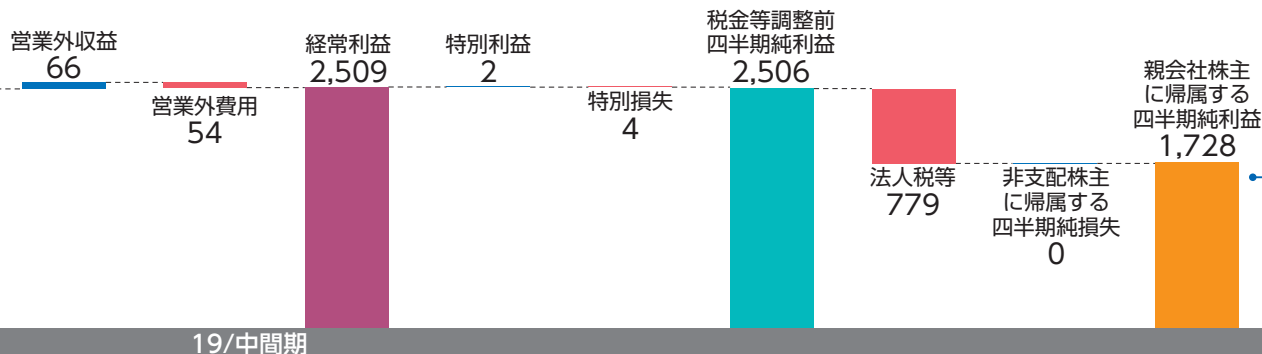
④ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



POINT 営業活動の結果使用した資金は、13億93百万円（前年同期に比べ37億53百万円の支出増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益25億6百万円により資金が増加しましたが、たな卸資産の増加額17億90百万円、仕入債務の減少額21億81百万円により資金が減少したことによるものであります。

POINT

当社グループの主要ユーザーである自動車メーカー・同部品メーカーは、国内においては、電動化や自動運転等の研究開発投資や製造ラインの合理化・効率化・省人化に向けた設備投資、また海外においては、中国や東南アジアを中心に新工場の建設や製造ラインの増設など、自動車業界の設備投資は高い水準で実施され、これらの需要に積極的に応えてきた結果、増収増益となりました。





◆◆ 会社概要 (2019年2月28日現在)

社名	株式会社進和
英文社名	Shinwa Co., Ltd.
本社	名古屋市守山区苗代 2-9-3
設立	1951年2月12日
資本金	951,106,400円
当社グループ 全従業員数	755名 (当社および連結対象子会社 713名)
主要な 事業内容	・金属接合関連商品および製品の販売 ・産業機械関連商品および製品の販売 ・FAシステム関連商品および製品の販売 ・特殊溶接技術を要する補修工事および 各種機械装置の修理工事

◆◆ 役員 (2019年2月28日現在)

※取締役社長	根本 哲夫
専務取締役	瀧谷 善郎
専務取締役	吉田 礎久
常務取締役	石川 修示
取締役	入山 敏久

監査等委員	後藤 博介
監査等委員(社外取締役)	内藤 正明
監査等委員(社外取締役)	田島 和憲

(注) 1. ※印は代表取締役であります。
2. 社外取締役内藤正明および田島和憲の両氏は、独立役員であります。

◆◆ 事業拠点 (2019年2月28日現在)

本社
本社(名古屋市)

営業部・営業所

東京営業部(東京都) 大阪営業部(大阪市)
大宮営業部(さいたま市) 九州営業部(北九州市)
北海道営業所(苫小牧市) 東北営業所(仙台市)
静岡営業所(静岡市) 浜松営業所(浜松市)
広島営業所(広島市)

国内工場

メンテックセンター
名古屋工場(豊田市) 九州工場(北九州市)
ジョイテックセンター(名古屋市)
FAシステムセンター(名古屋市)
メカトロシステムセンター(名古屋市)

国内子会社

◆株式会社 アイシン(名古屋市) ◆株式会社 進栄(名古屋市)
◆株式会社 ダイシン(名古屋市)

海外子会社

- ◆SHINWA U.S.A. CORPORATION(米国)
- ◆SHINWATEC LIMITED(英国)
- ◆SHINWA INTEC Co., Ltd.(タイ)
- SHINWA(INDIA)ENGINEERING & TRADING PRIVATE LIMITED(インド)
- SHINWA REPRESENTAÇÃO COMERCIAL DO BRASIL LTDA.(ブラジル)
- ◆PT. SANTAKU SHINWA INDONESIA(インドネシア)
- SHINWA INTEC MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア)
- SHINWA ENGINEERING S.A. de C.V.(メキシコ)
- ◆那欧雅進和(上海)貿易有限公司(中国)
- ◆煙台進和接合技術有限公司(中国)
- ◆煙台三拓進和攪拌設備維修有限公司(中国)
- ◆進和(天津)自動化控制設備有限公司(中国)

(注) ◆印は連結子会社であります。



株式の状況 (2019年2月28日現在)

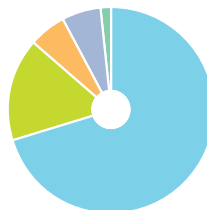
- ▶ 発行可能株式総数 23,100,000株
- ▶ 発行済株式の総数 14,415,319株
- ▶ 株主数 6,171名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
進和取引先持株会	476	3.6
進和従業員持株会	447	3.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	446	3.4
下川浩平	430	3.2
根本哲夫	429	3.2
加藤嘉一	424	3.2
東朋テクノロジー株式会社	400	3.0
根本完治	379	2.8
日本トラスティ・サービスティ銀行株式会社(信託口)	364	2.7
加藤皓己	334	2.5

(注) 持株比率は、自己株式を除く発行済株式の総数に対する持株数の割合であります。

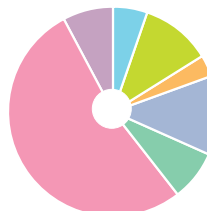
所有者別分布状況



- 個人・その他 70.3%
- 金融機関 16.1%
- その他の法人 6.0%
- 外国法人等 6.1%
- 金融商品取引業者 1.4%
- 政府・地方公共団体 0.0%

※「個人・その他」に当社が含まれております。

所有数別分布状況



- 1千株未満 5.5%
- 1千株以上 10.8%
- 5千株以上 3.2%
- 10千株以上 12.4%
- 50千株以上 7.8%
- 100千株以上 52.7%
- 500千株以上 7.6%

※「500千株以上」に自己株式1,092千株が含まれております。

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆さまのご厚情に対し感謝を込めて、毎年1回、株主優待を実施しています。

- 割当基準日** 毎年8月31日(年1回)
- 贈呈基準** 所有株式数 100株(1単元)以上所有の株主の皆さま
- 内容・贈呈方法**
- 所有株式数 1,000株以上
 - 魚沼産コシヒカリ(5kg 1袋)
 - 11月下旬から12月上旬にかけて宅配にてお届けします。
 - 所有株式数 100株以上
 - おこめギフト券(1kg相当 2枚)
 - 期末の報告書の発送に同封させていただきます。



魚沼産コシヒカリ



おこめギフト券



事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月
基準日	定時株主総会 毎年8月31日 期末配当金 毎年8月31日 中間配当金 毎年2月末日 そのほか必要があるときはあらかじめ公告して定める日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
同 郵 送 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所 各市場第一部
公告方法	電子公告 (当社ホームページに掲載) ※やむを得ない事由により電子公告が出来ない場合、日本経済新聞に掲載

◆ ホームページのご案内

当社では、株主・投資家の皆様と、より良いコミュニケーションを図るため中期経営計画や決算発表資料などのIR情報をホームページにて公開しております。
是非、ご覧ください。

トップページ◎



IRページ◎



◆ パソコン・スマートフォン

<https://www.shinwa-jpn.co.jp/>

株式会社進和

検索



〒463-0046 名古屋市守山区苗代2-9-3
TEL (052) 796-2533
URL <https://www.shinwa-jpn.co.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

